

体験して備える防災ギフト

プレス補足資料

SOW
Experience



※パッケージデザインは
若干変更予定です



体験して備える防災ギフト

¥12,500 + tax

大切な人に、防災準備のきっかけを

日本にいる以上、避けては通れない自然災害。一方で、災害への備えをしている人は全人口の約50%といわれています。大事なことなのに、後回しにされがちな「防災」。だからこそ、始めるきっかけをギフトで贈りませんか？準備している人でも、そうでない人でも、どんな家庭にも必ず役立つ体験と防災グッズを厳選したギフト専用商品です。

多くの人が在宅避難、人口の半数は準備不足
ギフトは防災準備の「きっかけ」になると着想しました

80% 50%

災害時に在宅避難をする世帯

避難所での生活のイメージが強い避難生活ですが、多くの方は、自宅で暮らすのが実態です。何をどう準備すべきか、まだまだ知られていないことがたくさんあります。

備えをしていない人

災害に対する備えをしていない人は、50%にのぼるという調査があります。危機感あるニュースや情報に触れても、実際に行動に移すのは難しいものです。

他人から贈られる、
ギフトがきっかけになる

防災の種類は「死なないため」・「生き延びた後」と大きくつ
後者がギフトの性質に合っており、商品企画の検討を重ねました

死なないため の防災

- ・家の補強
- ・家具の固定
- ・防災訓練 など

重要だが、
ハードルは高い

生き延びた後 の防災

- ・避難
- ・インフラ停止での生活
- ・情報収集 など

身近で取り組みやすく、
防災意識が高まる

既存の防災関連商品のイメージをヒアリングし検討
「贈りたくなる、贈られたい防災ギフト」を目指しました

・相手が必要なものが分からない...

・防災グッズの量/種類が多すぎる...

・防災商品はデザインがいまいち...

非常用リュック

防災キット

ノウハウ本

ギフトには不向き

Step1

読む



ギフトブックでは、在宅避難で確実に直面する5つの体験を紹介しています。「暗闇生活」「非常食ランチ」「自宅で水探し」「非常用トイレ」「発電&充電」の章に分けて、体験の方法や便利なグッズ、備えのコツを掲載しています。

Step2

試す



「自宅にある道具でできる体験」を紹介しています。例えば「暗闇生活」の章では、ペットボトルを使って光を拡散させるランタンを作り、夜間に電気を消した家で使うやり方を紹介。試すことで、それがどれほど重要なのか、大変なのかが分かり、防災についての解像度が増します。

Step3

グッズ取り寄せ



チケットは、防災グッズを取り寄せるための権利証です。専用サイトから、自分に必要な防災アイテムを1つ(または1セット)選べます。選べるアイテムは5つの体験に紐づいたもの。「試す」で得た気づきを活かし、自分に本当に必要なものを取り寄せられます。

Step4

備える



取り寄せた防災グッズを使ってみると、非常に便利だということに気づかされます。今後の「防災」を考える上で、便利で自分たちの生活に合ったグッズをそろえるきっかけになります。

電気・ガス・水道が使えない在宅避難で直面する5つの体験を紹介 「平和な今のうち」に楽しみながら体験してほしいことをセレクトしています

1

暗闇生活



停電してしまった自宅で、夜を過ごすのはとても不安です。身近なグッズで明かりを確保する方法や、もっておくと便利なLEDランタンなどの紹介をしています。

2

非常食ランチ



ガスが使えなくても意外に“おいしい、非常食を食べてみます。ローリングストック(常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法)などの備える知恵も紹介しています。

3

自宅で水探し



準備しておかないとあっという間になくなってしまいう水。自宅で生活用水を確保する方法や、水の備蓄のコツ、いざというときに役立つ浄水器を紹介しています。

4

非常用トイレ



水が流せない環境では、自宅で排泄物をなんとか保管しなければなりません。清潔に保つ方法や非常用トイレキットを紹介しています。一度体験しておくとも非常に心強いです。

5

発電&チャージ



ないと不安なスマートフォンなどのガジェット。停電した自宅で、いかにバッテリーを確保するかを紹介。また、いざというときに手で発電できるグッズを紹介しています。

体験したからこそ分かる、災害に対する心構えや備えの重要性 役立つ情報やノウハウを掲載した「備えのコツ」を用意しています

これから本格的に備えたい人へ - 灯り編 -

まずは「明るさ」について知る

避難生活を体験し、非常用照明だけで数日間過ごすイメージは満ちましたか。備えを強化するなら、部屋の広さに対して十分な明るさを知りたいものです。

LED照明の場合、明るさの目安としてよく表示されるのは、ルーメンという単位。照明から発せられる「光の量」を表します。基本的にはルーメンが大きいほど明るいと考えられますが、形状などによって実際に体感する明るさと正比例しません。いわゆる「明るさ」を表す単位としては、照らされた場所の照度を表すルクスがあります。食卓では300ルクス、読書には500～750ルクスの明るさが推奨されています。(注2)

以下は、3種類のLEDランタンの「光の量(ルーメン)」と、50cm離れた場所の「明るさ(ルクス)」を比較した実験結果です。非常用照明選びの参考にしてください。

光量	明るさ	照明器具の用途など
約2000ルーメン	約700ルクス	主にアウトドア用の強力なランタンなど。少し離れた場所でも通常に近い生活ができる。
約200ルーメン	約100ルクス	雑貨店などで手に入る一般的なランタンなど。本をなんとか読める程度の明るさ。
約40ルーメン	約30ルクス	100円ショップなどで手に入る小型のランタンなど。手元に置けば着替えなどの簡単な作業はできる。

※実験結果はあくまで一例です。照明器具により、ルーメンとルクスの比率は異なります。

生活用にランタン、避難用にヘッドライトを

電気復旧までの室内照明として活躍するランタンは、家族の人数や部屋数に応じて備えておくに便利です。100円ショップや雑貨店で広く取り扱われています。

自宅から避難する場合には、手で持たずに進行方向を照らせるヘッドライトが必要。身を守るための照明器具として、明るさや装着しやすさを吟味して選びましょう。

懐中電灯は、照らしたい場所を確実に照らせるという利点があり、1本あると便利です。火災の危険を伴うろうそくは、非常時には使用しない方がいいでしょう。



生活用のランタン



避難時に使うヘッドライト



特定箇所を照らす懐中電灯

抜粋

非常用照明は、普段から活用しやすい防災グッズ



非常時だけのためにたくさんの照明器具を買いそろえるのは、気が進まない人も多いかもしれません。いっそのこと、普段から使えるものを選ぶのも一つの手です。

たとえばランタンなら、庭やベランダに置きたくなるようなデザインを、コンサート用のペンライトやケミカルライトも、停電時には手軽に使える照明として重宝します。照明器具は、楽しみながら選べる防災グッズです。

5つの体験に関連する防災グッズを専用サイトから取り寄せ 在宅避難生活がとても快適になるものをセレクトしています

1

LEDランタン



暗闇での生活に生きる、
広範囲を照らせる強力
なランタン。災害時にも
もちろんアウトドアでも活
躍します。

2

グルメ非常食



種類豊富なおいしい非
常食のセット。保存期間
が長く、栄養バランスも
味もよい人気商品です。

3

浄水器



生き物が生息できる淡水であれば飲料レベルまで水を
浄化できるコンパクトな浄水器。防臭効果が高い袋と吸
水性に優れた凝固剤が入った非常用トイレ。在宅避難
における水まわりの重要品である非常用トイレと浄水器
のセットです。

4

非常用トイレ



5

手動発電機



普段はコンセントに繋い
で充電器として使用で
き、いざというときは手動
で発電できるコンパクト
発電機です。

セット

※1:浄水器と非常用トイレはセットのため、選べるのは 4種類

※2:グッズの仕様やデザインは変更になる可能性有

冊子は防災の専門家監修のもとに企画編集 プロの視点も入ったオリジナルコンテンツです



ソナエルワークス代表 高荷智也氏

「備え・防災は日本のライフスタイル」をコンセプトに活動する防災アドバイザー。
自身が運営するWebサイトや各種メディアへの連載、セミナーを通じて、個人に対しては「自分と家族が死なないための防災対策」を、企業には「中小企業の実践的BCP」を分かりやすく伝えている。

特別な日にも贈れるデザイン
大切なひとへ、心の込もった贈り物になります



実家の両親に



結婚や引っ越しのお祝いに

